

【オリコンサル ジャカルタ、ヤンゴンに現法 今期中めどに設立】

オリコンサル ジャカルタ、ヤンゴンに現法 今期中めどに設立

ACKグループ(ACKG)の野崎秀則社長は、5月30日に開いた2014年9月期第2四半期の決算説明会で、海外での基盤強化に向けグループ

傘下のオリエンタルコンサルタンツが準備を進めているインドネシアのジャカルタとミャンマーのヤンゴンそれぞれに現地法人を「今期中を

めに設立したい」と述べた。

インドネシアは、オリエンタルコンサルタンツの主要市場であり、現法を設立することで開発案件などの現地政府発注案件、民間開発案件の市場に参入し、事業の拡大を図る。ヤンゴンについては、民主化、経済開放の進展で経済制裁が大幅に緩和され、今後

のインフラ需要が旺盛なことから、ミャンマーでのコンサル

ティンク事業展開の足掛かりにする。ACKGは海外の新規開拓を重点化プロジェクトの1つに位置付け、13年6月にインドのデリーにオリエンタルコンサルタンツの現地法人を設立し、同国や近隣国でのコンサルティンク業務を

展開している。14年9月期通期の業績予想については、売上高362億円(前期比10.7%増)、営業利益7.1億円(同41.1%増)、経常利益6.7億円(同6.1%増)、当期純利益5.1億円(同2.8%減)を見込みたい」と述べた。

込み、売り上げ、経常・営業利益については過去最高となる見通し。野崎社長は通期業績見通しについて、「重点化事業をしっかりと進めてきた結果であり、目標どおり達成していきたい」と述べた。